

## 平成25年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成25年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

**安全功労者表彰受賞者 個人17名、団体11団体**

**消防功労者表彰受賞者 消防団員8名、婦人（女性）防火クラブ員4名**

（受賞者名等は、別添の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び婦人（女性）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

（1）日 時 7月5日（金）11時00分～11時30分

（2）場 所 都道府県会館 1階大会議室  
千代田区平河町二丁目6番3号

（3）出席予定者 柴山総務副大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、  
審議官他



連絡先  
消防庁総務課  
小谷政策評価広報官・高橋係長  
TEL 03(5253)7521内線 42171  
FAX 03(5253)7531

平成25年度  
安全功勞者総務大臣表彰  
消防功勞者総務大臣表彰

平成25年7月

消 防 庁

# 目 次

## 1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 須 藤 邦 夫（北海道・北見地区消防設備安全協会 顧問） ----- 1
- 村 田 睦 幸（埼玉県・春日部市危険物防火安全協会 会長）
- 芝 野 好 則（千葉県・夷隅郡市防火安全協会 会長） ----- 2
- 鈴 木 基 之（東京都・城東防火防災協会 会長）
- 鎌 田 弘（東京都・向島防火防災協会 会長） ----- 3
- 岡 本 弘（東京都・荒川防火防災協会 会長）
- 伊 藤 正 徳（東京都・新宿防火管理協会 会長） ----- 4
- 川 崎 善太郎（神奈川県・多摩防火協会 会長）
- 石 黒 信 彦（岐阜県・土岐市危険物安全協会 会長） ----- 5
- 中 島 富 子（岐阜県・下呂市女性防火クラブ 会長）
- 大 角 正 幸（京都府・左京防火協会 会長） ----- 6
- 小 川 敬 子（大阪府・泉南市婦人防火クラブ 会長）
- 美 馬 大 道（大阪府・福島防火協力会 会長） ----- 7
- 米 島 康 夫（大阪府・東大阪市西防火協力会 会長）
- 岸 本 正 子（兵庫県・加古川市婦人防火クラブ連合会 会長） ----- 8
- 岩 崎 和 紀（広島県・福山市東防火協会 会長）
- 大 薨 司 朗（福岡県・筑後市防災協会 副会長） ----- 9

## 2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- いっばんしゃだんほうじんほっかいどうしょうぼうせつびきょうかい 一般社団法人北海道消防設備協会（北海道）----- 10
- たむらしりつおおごえちゅうがっこうしょうぼうくらぶ 田村市立大越中学校消防クラブ（福島県）
- やまがたしじよせいぼうかくらぶうんえいきょうぎかい 山県市女性防火クラブ運営協議会（岐阜県）----- 11
- ますいふじんぼうかくらぶ 増位婦人防火クラブ（兵庫県）
- かんさいぺいんととかぶしがいしやあまがさきじぎょうしよ 関西ペイント株式会社尼崎事業所（兵庫県）----- 12
- しんようちくぼうさいふくしこみゆにてい 真陽地区防災福祉コミュニティ（兵庫県）
- えひめけんふじんぼうかくらぶれんらくきょうぎかい 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会（愛媛県）----- 13
- あたごちくふじんぼうかくらぶ 愛宕地区婦人防火クラブ（長崎県）
- かぶしがいしやにゅーすかいほてる 株式会社ニュースカイホテル（熊本県）----- 14
- いりょうほうじんしゃだんかくゆうかいつるたびょういん 医療法人社団鶴友会鶴田病院（熊本県）
- さいぶがすかぶしがいしやくまもとししや 西部瓦斯株式会社熊本支社（熊本県）----- 15

## 3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- はこだてつお 箱田鐵雄（青森県・つがる市消防団 団長）----- 16
- さかもとながお 坂本長男（宮城県・栗原市消防団 団長）
- よしむらつとむ 吉村務（石川県・白山市北消防団 団長）----- 17
- なかやままさる 中山勝（石川県・輪島市消防団 団長）
- さのしげいち 佐野繁一（京都府・京都市伏見消防団 団長）----- 18
- ますもとまさゆき 榊本雅之（兵庫県・たつの市消防団 副団長）
- かどわきまさと 門脇正人（鳥取県・琴浦町消防団 団長）----- 19
- ひがしばばしん 東馬場伸（鹿児島県・南さつま市消防団 団長）

#### 4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（婦人（女性）防火クラブ員）

- わた なべ みつ こ  
渡 部 光 子  
（福島県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 20
- やま つかさ かよこ  
山 司 嘉代子  
（和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 会長）
- てら うち さだ こ  
寺 内 貞 子  
（岡山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 21
- よし だ さだ こ  
吉 田 貞 子  
（長崎県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）



## 安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

### 個人の部

○須<sup>す</sup> 藤<sup>どう</sup> 邦<sup>くに</sup> 夫<sup>お</sup>

北見地区消防設備安全協会 顧問

現住所 北海道北見市

氏は、平成12年4月に設立された「北見地区消防設備安全協会」の会長として就任され、平成24年4月からは同協会の顧問として現在も火災予防のみならず、あらゆる防災啓蒙の向上に大きな貢献をされ、業界関係者のみならず各界から大きな信頼を得ている。

さらに、北海道消防設備協会の理事として協会の事業推進及び充実に寄与され、また平成6年6月に組織化された同協会の北見支部、支部長にも就任され網走管内のリーダー的存在でもある。

○村<sup>むら</sup> 田<sup>た</sup> 睦<sup>むつ</sup> 幸<sup>ゆき</sup>

春日部市危険物防火安全協会 会長

現住所 埼玉県春日部市

平成7年、春日部市防火協会会長に、平成11年の春日部・庄和地区危険物安全協会との統合を経て、平成12年には、春日部庄和危険物防火安全協会（市町合併に伴い平成18年、春日部市危険物防火安全協会に名称変更）会長に就任し、現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

事業者の防火・防災管理と保安体制の充実強化に総力をあげて取り組むとともに、火災予防思想の普及啓発をあらゆる機会をとらえて推進し、地域住民の信頼も厚く、安心・安全の街づくりに果たす功績は顕著である。

また、平成24年には、公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会副会長に就任し、広く社会公共の安全に多大な貢献をしている。

○<sup>しば</sup>芝<sup>の</sup>野<sup>よし</sup>好<sup>のり</sup>則

夷隅郡市防火安全協会 会長

現住所 千葉県いすみ市

昭和 35 年、夷隅郡危険物安全協会設立と同時に理事に就任し、平成 22 年からは夷隅郡市防火安全協会会長に就任し現在に至るまで、長年培われた知識と経験を活かし危険物施設の安全のために諸施策を促進すべく事業内容を充実させ、管内危険物施設の災害防止、同協会の発展に尽くしている。更に、火災予防運動の機会を活用して、小学生を対象に火災予防ポスター展を実施し、幼少期からの防火思想の普及に寄与するとともに、東日本大震災を風化させることの無いよう、管内危険物保有事業所を対象に研修会を開催し、地域住民への安心・安全の提供に多大な貢献をしている。

○<sup>すず</sup>鈴<sup>き</sup>木<sup>もと</sup>基<sup>ゆき</sup>之

城東防火防災協会 会長

現住所 東京都江東区

平成 11 年、城東防火防災協会の会長に就任以来、現在に至るまでそのリーダーシップを遺憾なく発揮し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力した。

消防署が実施する火災予防運動、防災週間等の各種行事、地区ごとの防災訓練や防災講演会等の開催に際し自ら率先して協力し、地域住民の防火防災意識の高揚に大いに貢献している。

また、平成 20 年 5 月からは、(公財)東京連合防火協会の監事として、消防関係団体の要職に就き、協会の事業を積極的に推進する等、江東区はもとより隣接する他の区においても、地域の安心・安全な街づくりに多大な貢献をしている。



かま た ひろし  
○鎌 田 弘

向島防火防災協会 会長

現住所 東京都墨田区

昭和 61 年、向島防火防災協会の理事、平成 9 年同副会長を歴任し、その人望と豊かな識見及び卓越した指導力により、平成 11 年同会長に就任した。約 25 年の長きにわたり協会の発展に尽力するとともに、自助共助の理念に基づき、地域の安全・安心な街づくりのための各種施策を展開し、様々な事業を強力に推進している。

また、消防署が主催する火災予防運動をはじめとする防火防災に関する行事では自ら先頭に立ち、毎年 11 月 9 日に実施する「まちぐるみ一斉火の用心」に 80 もの町会・自治会が参加するなど、地域の防火防災思想の普及に多大な貢献をしている。

おか もと ひろし  
○岡 本 弘

荒川防火防災協会 会長

現住所 東京都荒川区

昭和 40 年から、東京都荒川区南千住三丁目親公会の防火部会員として活動を始め、昭和 60 年 4 月からは荒川防火協会の常任理事、平成 4 年からは同協会副会長に、平成 12 年からは同協会会長に就任して、多年にわたり防火防災思想の普及に努め、会の発展と健全な運営に努めてきた。

また、平素から消防、警察及び区役所と地域住民が連携した防火防災活動の重要性を強く認識し、消防署が実施する火災予防運動や防災訓練等では自ら先頭に立って各機関と地域住民との橋渡し役となり、地域の自主防火防災行動力の向上に努め、災害発生の防止と被害の軽減に多大な貢献をしている。

いとうまさのり  
○伊藤正徳

新宿防火管理協会 会長

現住所 東京都港区

昭和 38 年 8 月、新宿防火管理協会に入会し、以来一貫して防火防災の普及に携わり、地域防災力の向上と安心・安全な街づくりに尽力している。

昭和 57 年にはその卓越した実行力と信望の厚さが評価され副会長に就任、さらに平成 11 年には会長に就任し、以来 10 年以上にわたりリーダーシップを発揮、協会事業を通じ、地域の防火・防災安全の推進、住民の防火意識の啓発及び防災行動力の向上に尽力し、地域の防災安全に多大な貢献をしている。

春秋の火災予防運動、また、防災週間、文化財防火デーなどでは、消防演習やパレード等に率先して参加するとともに、地域住民に広く参加を呼びかけ、地域の防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

また、会員事業所を対象とした各種講演会や研究会等を実施し、防火防災思想の普及啓発や防火管理業務の適正執行に大きく寄与している。

かわさきぜんたろう  
○川崎善太郎

多摩防火協会 会長

現住所 神奈川県川崎市

昭和 43 年に稲田防火協会（多摩防火協会前身）に入会し、その後、川崎市多摩区菅町会会長及び多摩区町会連合会長等の要職を歴任し、平成 9 年に多摩防火協会副会長、平成 11 年に同協会会長に就任した。

会長就任後、地域住民の防火・防災意識の高揚と啓発に努め、火災のない明るい街づくりの実現を図ることを目的に様々な諸事業を展開するとともに、率先して関係機関との調整にあたるなど、多摩防火協会の発展に大きく寄与している。

さらに、平成 22 年 7 月川崎市内に組織されている 8 つの防火協会で構成する川崎市防火協会連合会の会長に就任し、川崎市内の防火活動等に大きく貢献している。

いし ぐろ のぶ ひこ  
○石 黒 信 彦

土岐市危険物安全協会 会長

現住所 岐阜県土岐市

平成6年4月、土岐市危険物安全協会の理事に、平成18年4月には同会長に就任し現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くすとともに、危険物施設等事業者への安全管理業務の円滑化と保安体制の強化を促す事業を展開しており、危険物安全週間や高圧ガス保安活動促進週間に協会が行う各種事業を強力に推進している。

また、消防本部が実施する住宅防火対策の推進についても率先して協力しており、会員はもとより消防機関や地域住民からの信頼も厚く、地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

なか しま とみ こ  
○中 島 富 子

下呂市女性防火クラブ 会長

現住所 岐阜県下呂市

平成11年4月に旧益田郡金山町婦人防火クラブの会長に就任し、平成13年4月には益田郡女性防火クラブの副会長に就任する。さらに平成18年4月より町村合併後の下呂市女性防火クラブの会長に就任し、また岐阜県女性防火クラブ運営協議会の副会長として活躍されている。

また、平成25年度より下呂市防災会議委員となるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、金山地区はもとより下呂市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

お お す み ま さ ゆ き  
○大 角 正 幸

左京防火協会 会長

現住所 京都府京都市

昭和 56 年、左京防火協会副会長に、また、平成 15 年には同会長に就任し、出火防止の啓発活動のみならず、普通救命講習や防災講演会を開催するなど、大いにリーダーシップを発揮して加入事業所会員の防火防災意識の向上に尽力している。

また、永年にわたって、京都市が推進する防火防災施策に深い理解を示し、住宅用火災警報器の設置促進活動や左京消防署が行う出火防止キャンペーンを積極的に支援するなど、加入事業所はもとより、地域の安心安全の推進に多大な貢献をしている。

お が わ け い こ  
○小 川 敬 子

泉南市婦人防火クラブ 会長

現住所 大阪府泉南市

昭和 57 年 3 月、泉南市婦人防火クラブ結成からクラブ員として地域の防火思想の普及・啓発活動に従事し、昭和 63 年 4 月委員長（平成 5 年 4 月に会長職に改める）に就任する。

代表として現在に至る 25 年の長期にわたり、自ら先頭に立ち各地域における家庭防火の推進を図るとともに、応急手当の普及啓発、住宅用火災警報器の設置促進に寄与し、地域防災に大きな成果をあげている。

さらに、平成 19 年から大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員として消防・防災に関する知識の向上及び習熟に努め、地域住民が安全で安心して暮らせる町づくりに多大な貢献をしている。

○<sup>み</sup>美<sup>ま</sup> <sup>ひろ</sup>馬<sup>みち</sup> <sup>ひろ</sup>大<sup>みち</sup> <sup>みち</sup>道

福島防火協力会 会長

現住所 兵庫県宝塚市

平成6年、福島防火協力会副会長に就任、平成10年には同会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力するとともに、各種消防関係団体と連携・協力し、企業、事業所、各種学校関係の自主防災管理に関する施策を効果的に進め、防火・防災意識の高揚に努めている。

また、平成19年に大阪市連合防火協力会会計理事に就任、平成21年には同会副会長に就任し、福島区はもとより大阪市全体の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信望も厚く、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>よね</sup>米<sup>しま</sup> <sup>やす</sup>島<sup>お</sup> <sup>お</sup>康<sup>お</sup> <sup>お</sup>夫

東大阪市西防火協力会 会長

現住所 大阪府東大阪市

昭和56年4月、東大阪市西防火協力会理事に、平成12年4月に同副会長、平成21年4月に同会長に就任するとともに、東大阪市の各地域の防火協力会の連合組織である東大阪市防火協力会連絡協議会の会長も兼任している。

平成18年には同会発足60周年記念として防火啓発用資機材等を寄付するとともに、平成25年には各地域の防火協力会と連携し、ラグビーのまち東大阪市のマスコットキャラクターの消防士バージョンである「消防トライくん」の着ぐるみを作成するなど、東大阪市全域において防火・防災意識の普及啓発に尽力し、消防行政の円滑な推進に多大な貢献している。

○<sup>まし</sup>岸 <sup>もと</sup>本 <sup>まさ</sup>正 <sup>こ</sup>子

加古川市婦人防火クラブ連合会 会長

現住所 兵庫県加古川市

平成4年4月、上荘地区婦人防火クラブ会長に、また、平成6年4月に加古川市婦人防火クラブ連合会会長に就任し、各事業の推進を図りながら自ら先頭に立って会員及び地域住民に対して防火・防災を呼び掛けるなど、地域の防災意識の高揚に努めている。

毎年開催される婦人防火クラブ研修大会においては、住宅用火災警報機の普及啓発について広報を実施している他、住宅用火災警報器普及啓発キャンペーンにおけるPR活動等を通じて、住宅用火災警報機の設置率向上に大いに貢献している。

また、一戸一灯運動への協力を推進するなど放火対策にも取り組み、家庭や地域における防火思想の普及啓発を積極的に推進している。

○<sup>いわ</sup>岩 <sup>さき</sup>崎 <sup>かず</sup>和 <sup>のり</sup>紀

福山市東防火協会 会長

現住所 広島県福山市

平成15年、福山市東防火協会監事として活躍し、平成19年に同協会会長に就任し、地域住民に防火・防災思想の重要性を認識させ、同協会の発展に尽力している。

さらに、責任感が強く、地域住民の負託と信頼に応え、市民が安心して生活できるまちづくりを推進するため、防火座談会、消火訓練、防災研修等を開催して、防火・防災意識の高揚を図るとともに、消火器や住宅用火災警報器の設置促進を呼びかけるなど、消防行政に多大な貢献をしている。

また、平成19年からは、福山市防火協会連合会副会長の要職に就き、同連合会の運営や事業を積極的に推進し、地域の安心・安全なまちづくりと防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。

おおづる しろう  
○大鶴 司朗

筑後市防災協会 副会長

現住所 福岡県筑後市

平成3年6月、筑後市防災協会役員に就任し、平成24年6月には、豊富な職見と優れた指導力が評価され、同会副会長に就任し、会員相互間の親睦を図り、組織体制の充実強化を図り地域災害の撲滅に努めるなど、積極的に会の事業を推進し会の育成発展に尽力している。

また、春季・秋季火災予防運動への参加や高齢者・青少年の防火・防災思想の普及啓発に努め率先垂範をもって、会員や地域住民の防火思想の高揚に努め、安全で安心なまちづくりに寄与している。

さらに、幼年期における火災に対する正しい知識の習得のため、幼年消防クラブの育成にも尽力しており、地域防災力の強化に多大な貢献をしている。

## 団体の部

いっばんしゃだんほうじんほっかいどうしょうぼうせつびきょうかい  
○一般社団法人北海道消防設備協会

(理事長 八木 健眞)

所在地 北海道札幌市

昭和 53 年 11 月に北海道消防設備協会を設立、昭和 60 年 4 月に法人化し、平成 24 年 4 月に公益法人制度改革に伴い、一般社団法人北海道消防設備協会に移行して以来、消防用設備等の設置維持管理の適正化、消防用設備等関連業務に携わる消防設備士、消防設備点検資格者等による育成指導資質の向上、防火対象物関係者への防火防災思想の普及啓発、各種防災活動への参加等各種事業を展開してきた。これらの事業を通じて北海道内のホテル、病院、福祉施設、アパートマンション、事務所ビル等の防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防火意識の高揚に多大な貢献をしている。

たむらしりつおおごえちゅうがっこうしょうぼうくらぶ  
○田村市立大越中学校消防クラブ

(校長 板橋 健一)

所在地 福島県田村市

平成 6 年 5 月 23 日に設立以来、校内の活動のみならず少年消防クラブ交流会や少年消防クラブリーダー研修会等各種研修会に参加し、地域防災の推進に積極的に取り組んでいる。

平成 22 年には、全国の「モデル少年消防クラブ」に選ばれ、配置された軽可搬ポンプの放水訓練やロープワークを取り入れた規律訓練を地域の各種行事で披露している。また、東京電力福島第一原子力発電所事故による避難者の仮設住宅を訪問したり、地域が主催する花いっぱい運動に毎年参加するなど、地域に密着した防火普及啓発活動を幅広く展開し、同クラブが所在する住民の防火・防災意識の高揚に努め、地域の安全・安心の構築に多大な貢献をしている。



やまがたしじょせいぼうかくらぶうんえいきょうぎかい  
○山県市女性防火クラブ運営協議会

(会長 堀 志保)

所在地 岐阜県山県市

山県市女性防火クラブ運営協議会は、平成 15 年 4 月、市町村合併とともに旧三町村（高富町・伊自良村・美山町）の女性防火クラブが合併し、当運営協議会として設立以来、市内全家庭における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に、消火器や消火栓の取扱訓練を実施して、女性の初期消火技術の向上を図るほか、応急手当、地震対策に関する訓練、講習会を開催するなど、クラブ員のさらなる防火思想の高揚、災害時の応急対策及び要援護者支援の意識向上に努め、地域自主防災の要の一員として火災件数の減少、地域住民への防火・減災意識の向上に多大な貢献をしている。

ますいふじんぼうかくらぶ  
○増位婦人防火クラブ

(隊長 中塚 美知子)

所在地 兵庫県姫路市

平成 2 年 12 月に結成以来、「防火の一步は家庭から」を合言葉に、防火研修会や消火訓練を実施し、婦人層の防火知識の高揚と消火技術の向上を推進し、家庭からの火災発生防止と地域の火災の減少に大いに貢献している。そのうえ、家庭を守る女性の立場で住宅用火災警報器の必要性を広く訴え、住宅用火災警報器の設置率の向上を積極的に推進している。また、防災意識の高揚を主眼としクラブ主催で炊き出し訓練を定期的実施するほか、消防団や地域の自主防災会と連携して防災訓練に積極的に参加する等、地域コミュニティーとの連携強化による地域防災力の向上を図り、安心安全で魅力的な地域社会の構築に多大な貢献をしている。

かんさいペイント と かぶしがいしゃあまがさきじぎょうしょ  
○関西ペイント株式会社尼崎事業所

(尼崎事業所長兼製造部長 平松 靖博)

所在地 兵庫県尼崎市

大正7年、尼崎市神崎町に関西ペイント株式会社を発足以来、総合塗料メーカーとして、日本塗料製造技術の向上に寄与し、70ヶ国を超える国々で事業を展開している。

平素から、地域における防火安全の企業責任を十分認識し、防火管理体制を整備するとともに、従業員が一丸となり、積極的に訓練等を実施し、日々防火管理の徹底と自衛消防活動の万全を目指して、防火意識の高揚に努めている。

また、当事業所は、毎年実施される危険物安全運動や防災週間等の際には、積極的にポスターや看板を掲示し、火災予防の普及啓発に多大な貢献をしている。

しんようちくぼうさいふくしこみゆにてい  
○真陽地区防災福祉コミュニティ

(本部長 中谷 紹公)

所在地 兵庫県神戸市

真陽地区防災福祉コミュニティは、平成7年の阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、地域の自主的な防災力を高めるべく広い分野にわたって積極的に他の地域団体と一緒に活動している。

その一つが防災教育で、小学生はもとより幼稚園児にまでその年齢や発達に応じて工夫を凝らしながら対応している。また、海拔が低い地域が多いため、津波避難訓練、津波避難マップの作成、小学生に参加を呼びかけた海拔標識の設置作業等の地域特性に応じた訓練も実施されている。このような活動を通じて地域の防災力の向上に多大な貢献をしており、その功績は顕著である。

えひめけんふじんぼうかくらぶれんらくきょうぎかい  
○愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会

(会長 大森 幸子)

所在地 愛媛県松山市

昭和 58 年に結成以来、県内婦人防火クラブの育成・発展に努め、愛媛県内の婦人防火クラブの上部機関として県内各地区の予防活動や防火知識・技術の普及啓発等の事業を積極的に展開し、地域の防災力の充実強化に寄与している。

また、住宅用火災警報器設置に係る普及推進活動、特に共同購入による設置促進では大きな成果を挙げるなど、地域における防火防災の中心的な存在となっており住民の安心・安全の寄与に多大な貢献をしている。

あたごちくふじんぼうかくらぶ  
○愛宕地区婦人防火クラブ

(代表 西本 妙子)

所在地 長崎県長崎市

昭和 47 年 11 月 19 日に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、日頃から火災・災害を想定して、自治会や消防団とともに初期消火訓練や防火講話等を定期的実施しているほか、住宅用火災警報器を共同購入するなど住宅防火対策を推進し、町内から住宅火災による死傷者を出さないことを目標に積極的に活動している。

また、AED の使用方法を含めた普通救命講習等も定期的実施する等、幅広い活動を展開し地域住民の防火意識等の高揚に多大な貢献をしている。

かぶしきがいしゃにゅーすかいほてる  
○株式会社ニュースカイホテル

(代表取締役社長 櫻井 孝一)

所在地 熊本県熊本市

当事業所は、昭和 43 年の創業以来、24 時間絶え間ない防火管理体制により安全対策に努め、日常的な防災施設の巡回をはじめ、消防用設備等の取扱い訓練や自衛消防隊による昼夜を問わない想定での消防訓練等、職員の防火防災教育も積極的に実施し防火管理体制の徹底に努めている。また、熊本市防災協会主催の自衛消防隊屋内消火栓操法大会にも積極的に参加して優秀な成績を収め、実践に即した職場づくりと若手社員の防災教育にも積極的に取り組み、常にお客様の安全を第一に考えたホテルづくりを目指している。災害時には、地域住民に駐車場・避難場所・宿泊・食事の提供を行うなど、地域からの信頼は厚く多大な地域貢献をしている。

いりょうほうじんしゃだんかくゆうかいつるたびょういん  
○医療法人社団鶴友会鶴田病院

(理事長 鶴田 克明)

所在地 熊本県熊本市

当事業所は、昭和 48 年 4 月に開業以来、防火・防災に対する意識は非常に高く、24 時間の防火管理体制の中で、日々、安全対策の強化を図っている。定期的に消防訓練を実施し、消防用設備等の取扱訓練及び情報収集・搬送訓練等を行うなど、災害発生の未然防止及び初動体制の確立に尽力している。自衛消防隊屋内消火栓操法大会には毎回出場し、また、職員の防火・防災意識の向上に努め、定期的に職員研修等を行いながら、あらゆる災害に対する防火防災体制の強化及び組織体制の拡充に積極的に取り組んでいる。年間のイベント等では地域住民との交流を図り、地域の防災拠点として住民からの信頼は厚く、多くの事業所の模範となっている。

さいぶがすかぶしがいしゃくまとししゃ  
○西部瓦斯株式会社熊本支社

(常務執行役員熊本支社長 工藤 青史)

所在地 熊本県熊本市

昭和5年の設立以来、「地域貢献」、「責任」、「和」を経営の基本理念として掲げ、誠実かつ公正な事業を着実に展開してきた西部瓦斯株式会社熊本支社では、有事に備えた自衛消防隊を組織し、数々の消防訓練を行うとともに、過去35回開催された自衛消防隊屋内消火栓操法競技大会に男女混成の部で出場し、社員一人ひとりに対する防火防災教育を徹底して行うなど、地域の安全、安心を第一に考えた企業活動を行っている。また、熊本市が開催する「熊本市総合防災訓練」への参加や熊本市消防局と隔年で主催する「都市ガス災害対策連絡会議」にも積極的に協力するなど、事業所内の自衛消防に限らず地域防災育成に関しても多大な貢献をしている。

## 消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員

### 及び婦人（女性）防火クラブ員

#### 消防団員

はこ だ てつ お  
○箱 田 鐵 雄

つがる市消防団 団長

現住所 青森県つがる市

昭和 57 年に入団以来、31 年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成 8 年に旧柏村消防団長に就任。平成 17 年町村合併により、つがる市消防団が発足した際には、初代団長に就任し、1 町 4 村の年間計画を見直し、地域間での教養・訓練の格差是正に力を注ぎ消防団員の資質向上に努め、消防団組織の統合に多大な功績を果たした。さらに近年は、消防団活性化のため消防団協力事業所表示制度導入を積極的に推進するなどし、地域防災体制の充実に寄与している。

また、平成 22 年から 24 年までは、2 期目となる青森県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

さか もと なが お  
○坂 本 長 男

栗原市消防団 団長

現住所 宮城県栗原市

昭和 31 年に入団以来、57 年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成 20 年 6 月 14 日に発生した「岩手・宮城内陸地震」の際には、いち早く災害対策本部に駆け付け被害状況を把握し、自らが目の当たりにしてきた被害状況を関係機関に的確に伝え、その後の活動が遅滞なく実行できたことは、氏の積極果敢な行動力の賜物である。

また、緊急消防援助隊や自衛隊の撤退後の行方不明者の捜索についても率先してあたり、消防団の士気を高め 22 日間にわたる捜索活動を行った。

また、平成 19 年からは、宮城県消防協会会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

よし むら つとむ  
○吉 村 務

白山市北消防団 団長  
現住所 石川県白山市

昭和 41 年に入団以来、47 年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長として、数々の現場指揮に当たる傍ら、消防団活動だけでない地域防災力の向上策を研究し、土地区画整理事業で人口が急増する被推薦人が居住する地区（出城地区）の防災力向上のために、平成 23 年 11 月に各町内会の自主防災組織をまとめた形となる「自主防災委員会」を関係者ととともに立ち上げ、平成 24 年度以降防災訓練を行うほか、防災食講習や図上訓練などを企画、運営するなど当該地区の防災力の著しい向上に尽力している。

形骸化しやすい自主防災組織運営を活性化させるとともに、地域住民の防災意識向上が図られており、この活動が他の地区の模範となっている。

また、平成 24 年からは、石川県消防協会副会長（2 回目）として尽力し、その功績は誠に顕著である。

なか やま まさる  
○中 山 勝

輪島市消防団 団長  
現住所 石川県輪島市

昭和 34 年に入団以来、49 年余りの永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成 12 年団長に就任してからは、消防施設の整備や防火思想の普及、団員の育成に力を入れている。地域住民の安心・安全を確保するため、人口が年々減少する中で消防団員の入団を促進し、平成 21 年 1 月に女性団員、平成 24 年 7 月に機能別団員を発足させ、消防団員の確保に努めている。

また、平成 22 年から 2 年間は石川県消防協会会長および日本消防協会代議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○<sup>さ</sup>佐 <sup>の</sup>野 <sup>しげ</sup>繁 <sup>いち</sup>一

京都市伏見消防団 団長

現住所 京都府京都市

昭和 42 年 4 月に入団以来、幾多の災害現場に出動し、常に適切な現場活動を行い被害の軽減に寄与しているほか、防火防災思想の普及に尽力し、本市が提唱している「安心・安全なまちづくり」の実現へ大きく貢献し、全団員はもとより、地域住民及び各種団体の間でも極めて人望が厚く、信頼されている。

平成 16 年からは団長に就任し、リーダーシップを大いに発揮し、訪問防火指導の推進など地域に密着した消防団活動を展開し、京都市伏見消防団の発展に寄与している。

また、平成 24 年からは、京都府消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○<sup>ます</sup>栴 <sup>もと</sup>本 <sup>まさ</sup>雅 <sup>ゆき</sup>之

たつの市消防団 副団長

現住所 兵庫県たつの市

昭和 37 年 1 月、御津町消防団員に任命され、また、昭和 54 年 5 月再入団により副団長として長年に渡り、豊富な識見と卓越した指導力により消防団の発展に尽くした。

平成 11 年 4 月には御津町消防団長に任命され、平成 18 年 4 月には市町村合併に伴い龍野市及び揖保郡（新宮町・揖保川町・御津町）1 市 3 町の消防団が一団となる際にも他の消防団との調整役として積極的に働きかけた。

また、平成 18 年 4 月からはたつの市消防団副団長として長きに渡り消防団長を補佐しながら自ら先頭に立ち、消防団車両によるレッドパトロールなどを実施し、火災予防を地域住民に呼び掛けるなど、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。



かど わき まさ と  
○門 脇 正 人

琴浦町消防団 団長

現住所 鳥取県東伯郡琴浦町

昭和 44 年に入団以来、43 年以上の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防庁長官表彰功労章受章後、平成 22 年から 3 年間、鳥取県消防協会会長として県内消防団員及び消防職員の活動の支援を積極的に行い、県内消防団長・消防局長の研修会並びに意見交換会を開催するなど地域防災についての啓発や資質の向上等に取り組んだ。

また、町の消防団長として平成 20 年より女性消防団員を加入させ、女性消防団の育成に努めるなどその功績は誠に顕著である。

ひがしばば しん  
○東馬場 伸

南さつま市消防団 団長

現住所 鹿児島県南さつま市

昭和 45 年に入団以来、40 年以上の永きにわたり、一貫として消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。平成 21 年 3 月に消防庁長官功労章を受章後、毎年実施される防災訓練は、年々参加人員・参加団体が増加し、訓練に図上訓練等を取り入れるなど、質の高い訓練となっている。また、全団員に普通救命講習を受講させ災害時、現場活動のみならず応急処置も行えるようあらゆる災害に対応できる体制作りを行っている。東日本大震災発生後、氏が率先して視察団を編成し茨城県北茨城市の被災状況等の見聞を行った。視察後、団員に呼びかけ自家製米と合わせて支援米を送付。その後、同市と災害時相互応援協定を締結し、毎年 8 月、収穫したばかりの自家製米を無償で支援米として送付している。そのような活動の合間に、地域や各種団体の集会等に積極的に向き、消防防災に対し力強い指導を行い、市民の消防防災に対する認識は非常に高くなっている。近年、大火等が発生していないことは、同氏の消防にかける強い信念による賜物である。

## 婦人（女性）防火クラブ員

○<sup>わた</sup>渡 <sup>なべ</sup>部 <sup>みつ</sup>光 <sup>こ</sup>子

福島県女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 福島県会津若松市

昭和 53 年、会津若松市鶴城地区婦人消防隊入隊以来、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、昭和 61 年には同隊隊長に、平成 13 年には会津若松市婦人消防連絡協議会会長に就任し、婦人防火クラブの育成指導に尽力し地域の火災予防の普及に寄与している。

平成 24 年、福島県婦人防火クラブ連絡協議会の会長に就任後は、県下各地域で実施される研修会等に積極的に参加し、熱心に激励・指導するなど、リーダーシップを発揮し、地域における防火クラブの活性化に貢献している。さらに、他防火団体の連絡調整役として尽力するとともに、優良活動の情報収集に励み、幹部会議等で報告するなどフィードバックに努力している。

その姿勢はリーダーのあるべき姿であり、他の模範である。

○<sup>やま</sup>山 <sup>つかさ</sup>司 <sup>かよこ</sup>嘉代子

和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 和歌山県紀の川市

昭和 58 年、藤井地区婦人防火クラブ発足時から代表として、また同年、粉河町婦人防火クラブ連絡協議会発足時から会長として、平成 17 年には紀の川市粉河婦人防火クラブ連絡協議会発足時から会長として、率先して地域での防火活動に参加し、その姿勢はリーダーであるべき姿の見本であり、他の模範である。

平成 23 年には和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、県内約 1 万 4 千人の会員の取りまとめ役として、県下各地域で実施される研修会等に積極的に参加し、会長としてのリーダーシップを発揮し、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

○寺<sup>てら</sup>内<sup>うち</sup>貞<sup>さだ</sup>子<sup>こ</sup>

岡山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 岡山県備前市

昭和 55 年、香登婦人防火クラブに入部、昭和 59 年からは会長として同クラブの発展に寄与する。また同年、岡山県婦人防火クラブ連絡協議会委員に就任、平成 16 年には、同クラブ連絡協議会副会長に就任した。以来、副会長として家庭における防火思想の普及、啓発を図るため、婦人層を中心とした研修会、各種防災訓練に積極的に参加し、防火防災意識の向上に努めている。

平成 25 年 1 月には日本防火協会会長表彰を受賞し、その後も地域の安全安心に深く関わり、地域の防災力向上に大きく貢献している。長年にわたり、豊富な知識と卓越した指導力で、安全安心のまちづくりに貢献してきた功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○吉<sup>よし</sup>田<sup>だ</sup>貞<sup>さだ</sup>子<sup>こ</sup>

長崎県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 長崎県佐世保市

昭和 50 年、須田尾町 2 組婦人防火クラブ加入後、率先して地域での防火活動に積極的に参加し平成 7 年同クラブ代表者に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成 15 年佐世保市婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任してからは、12 支部 約 1 万 3,000 人のクラブ員の会長として、婦人防火クラブの健全な育成とクラブ員の連携強化を図り火災予防の普及に寄与した。

また、同年長崎県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任後は、会長とともに防火・防災の啓発活動に積極的に取り組み、さらに日本防火協会会長表彰受賞後は県内各地で行われる各種行事等に参加し防火防災思想の普及啓発を行い、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	17	28
	団体	11	
消防功労者表彰	消防団員	8	12
	婦人(女性) 防火クラブ員	4	

**リサイクル適性** 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。